



Rotary
Club of KOBE EAST



The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



神戸東ロータリークラブ会報 No.384 2017-2018 No1

表紙絵：太原 震也元会員



会 長／吉井 正幸 副会長／山崎 仁嗣 幹 事／梅田 稔
広報委員長／白田 勉 副委員長／小谷 哲也
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長方針 「明るく・楽しく・みんなで奉仕！」

I serve it together brightly and happily!



ロータリー：
変化をもたらす

RI President

Ian H.S. Riseley
2017-2018年度国際ロータリー会長





神戸東ロータリークラブ
会長
理事 吉井 正幸

明るく・楽しく・みんなで奉仕！

I serve it together brightly and happily !

伝統と格式ある神戸東ロータリークラブの2017～2018年度、第64代目会長を拝命いたしました。名門クラブの神戸東ロータリークラブの会長が務まるかどうか不安ですが、会員の皆様の「ロータリアンの友情」を支えにして頑張りたいと思っています。

最初に簡単にロータリー歴の自己紹介をさせていただきます。

私は、1998年～1999年の角田嘉宏会長年度に故増田光夫先輩と横山幹夫直前会長の推薦により入会をさせて頂きました。

その間に吉田建美会長年度の幹事、乙守典厚会長年度に副会長などを仰せつかりました。

今年度のRIのイアン、ライズリー会長テーマは「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ロータリー：変化をもたらす」

ロータリーの奉仕活動により社会を変えるとの意味があるとお聞きしています。また、第2680地区瀧川好庸ガバナーは「奉仕に全員で全力を尽くす年度に！！」とガバナー方針を発表されています。

それらを受けまして、

「明るく・楽しく・みんなで奉仕！

I serve it together brightly and happily !」と会長方針を決めさせて頂きました。

ロータリークラブの創始者ポール・ハリスは、ロータリークラブは「千人いれば千通りのロータリークラブがある」と言っております。そこで、名門である神戸東ロータリークラブの歴史と奉仕の伝統を、独自色であると考えみんなで奉仕活動をしようと考えました。神戸東ロータリークラブの会員の皆様にはロータリーに対してそれぞれの関わり方がありそして各々の関わり方を実践して頂いています。

ロータリアンの奉仕に対する献身は、友情のたまものだと言われています。でも根源にロータリーの奉仕の心があればこそだと思います。

そこで、皆様にロータリーの五大奉仕（クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕）、その奉仕事業に出来るだけ参加・実践をして頂きたいと思っています。

神戸東ロータリークラブ会員一人一人が積極的に各委員会・各事業に参加し、奉仕を実行して感動を共有してもらえば、おのずとRIのテーマを達成できると考えています。

そのためにも素晴らしい奉仕の心を持った神戸東ロータリークラブ会員、そして奉仕を実践して感動する仲間を増やすことが必要だと思っています。

そこで会員増強にも力を入れていきます。

メンバーの皆様全員が意識を持って、ことあるごとに色々な場所で優秀な人材に入会を進めてもらうことが、最初の第一歩です。

そしてまずは自分の周りから皆様の本業を通じて職業奉仕の精神を念頭において世の中のために尽く

すことも、忘れてはならない大切なことだと存じます。

この職業奉仕 (Vocational Service) は神戸東ロータリークラブの根幹をなすと考えています。

また今年度は当クラブより野田晴清ガバナー補佐を輩出し、「IM」が開催されますので、神戸東ロータリークラブ一丸となつてのご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、ポール・ハリスの言葉に「ロータリーは時代とともに変化しなければならない」というのがあります。神戸東ロータリークラブは伝統を守りながら、次代の変化を先取りし、変えるべきところは変え、時代とともに進化しています。

今年度1年、前年度のからの良い流れを引継ぎ、一步でも前進するように努めて、次年度に良い流れを引き継ぎたいと思っています。どうかよろしくご支援ご協力をお願いいたします。





副会長
クラブ管理運営委員長 山崎 仁嗣

本年度、副会長を仰せつかりました山崎でございます。

今年度、クラブ管理運営委員長として、1年間、会長、幹事、そして各委員会の委員長、特に出席、親睦、家族、プログラム、週報の各委員長のサポートをさせていただきたいと考えておりますので、各委員長の皆様、何なりとご相談、ご依頼を宜しくお願い申し上げます。

去る4月29日に開催された2017年地区研修・協議会に於いて地区のクラブ管理運営委員会では2017～18年度のガバナー諮問事項として、

- ・クラブの活性化を図るための施策を検討する。
- ・クラブ会員の多様化推進のためのセミナーを開催する。

という2項目が示され、これらの諮問事項に対するいくつかの診断方法と処方箋が例示されております。

詳しくご説明致しますと長くなりますので、かいつまんで申し上げますと、クラブ会員の皆さんがクラブライフを楽しみ、例会、その他の会に出席することが楽しみになるように、クラブの運営がなされているか、ということのようです。

私も当クラブに入会させていただいて11年を過ぎ、メンバーの皆様のお顔とお名前はほぼ一致しておりますが、数名の方のお名前が出てまいりません。それは新入会員の方々です。

ここ数年、年々40代、50代の若いメンバーが増え、おかげさまで毎年、クラブの平均年齢が下がり、若い方が増えてきているのは非常に喜ばしいことと考えておりますが、なかなかお顔とお名前が覚えきれません。

本年度の会長方針、「明るく・楽しく・みんなで奉仕！」にもありますように、ロータリーは第一に奉仕の団体であります。その奉仕もクラブの皆様の明るく、楽しい交流があつてのもので、楽しいクラブライフがクラブにとって、かけがいのないものであると思います。

会員増強委員会の皆様を中心に多くの皆様のご協力のおかげで毎年、10人前後のこれからの神戸東ロータリークラブを担う有力なメンバーの方々をお迎えし、この方々にいかに早くクラブになじんでいただき、楽しんでいただくか、と共に長くおられる会員の方々にその方々といかに早く親しくなっていくか、と非常に重要なポイントではないか、と考えております。

そのために、最初に配属される親睦委員会の委員長ほかの皆様が新入会員の方々に一日も早くクラブライフになじんでいただくように、受付業務の他に親睦委員会内の親睦会を年に何度か開催していただいておりますし、新入会員の皆様にも十分に楽しんでいただいていることと思っておりますが、他委員会の先輩の皆様との交流の機会はまだまだ少ないと思います。

そこで今回、「クラブ奉仕委員会」が「クラブ管理運営委員会」と名称を改めましたのを機に、新入会員の方だけでなく、既に年数を重ねたメンバーの皆様も含め、全メンバーの皆様に向けたメンバー交

流の場として「明るく・楽しくロータリー！」の会を開催したいと考えております。

内容としては、「ロータリークラブ」そして「神戸東ロータリークラブ」のごく「初歩の話」や「よもやま話」そして「とっておきの楽しい話」を先輩メンバーの皆様からお話いただき、先輩メンバーの方々、そして新しいメンバーの方々が互いにグラスを傾けながら皆様と懇親を深める場になれば、と期待しております。

クラブ管理運営委員会の各委員長をはじめ、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。有難うございました。



幹事
理事 梅田 稔

みなさんこんにちは、本年度幹事を仰せつかりました梅田でございます。一年間よろしくお願い致します。まず、在籍7年という新参者にお目をかけて頂いた吉井会長に感謝申し上げますとともに、吉井年度が皆さんの心に残るような1年になる様に頑張りたいと思います。そして、吉井会長の方針「明るく、楽しく、みんなで奉仕！」にありますように、会員の皆さんにとってこの1年が楽しく、心地良いロータリー活動、ロータリーライフになるよう委員長の皆様、事務局の皆様と協力しながら職務を遂行して参りたいと思います。

あと、このクラブは63年という長い歴史と伝統があります。在籍7年の私はそのうちの9分の1しか知りません。残りの9分の8を少しでも知る機会があれば、それを私同様在籍年数の短い方、私よりも若い方に少しでも伝えていければとも思っています。

最後になりますが、会長方針の様に明るく、楽しく、できるだけ笑顔で1年間やっていきたいと思っております。しかし、実際は必死でやっていますので皆さん、温かい気持ちでご協力を賜ります様お願い申し上げます。簡単ではございますが幹事就任のあいさつに代えさせていただきます。1年間よろしくお願い致します。





国際ロータリー第 2680 地区
ガバナー 瀧川 好庸

2017年1月中旬の1週間サンディエゴで国際協議会があり、また6月にはアトランタで国際大会がありました。国際ロータリーの2つの世界大会に出席し、まず思ったことは、いかにロータリーが世界的な規模であらゆる人種に支持されているかということでした。私も世界のロータリアンであるということ強く印象付けられました。

さて、2016年5月に規定審議会が開催されましたが、この審議会で様々な規定が大きく変更されました。ここでは詳しく触れる余裕はありませんが、ロータリーの潮目がかわったと言われるほどの変更で、いい言い方をすれば規定の柔軟な適応ということでしょうが、従来の規定を順守したい身からしますと、顔をしかめてくるような変更でしょう。詳しくは他に譲りたいと思います。

本年度のRI会長イアン・ライズリー氏はオーストラリアの方ですが、彼の本年度のテーマはROTARY: MAKING A DIFFERENCE「ロータリー、変化をもたらす」です。その優先事項ですが、1、クラブのサポート強化（若年会員の勧誘、女性会員の増加、多様化など）2、人道的奉仕の重点化と増加（継続性ある奉仕、ポリオ撲滅がその代表例）3、公共イメージと認知度の向上（広報活動に努め

る）この3つの優先事項の中核には「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」を置くとしています。そして珍しい提唱ですが、ロータリアン1人につき1本の木を植えようと言われました。環境悪化、地球の荒廃への懸念を示されました。

こうしたRI会長のお考えを踏まえて、地区の方針として次の3つを根底に置くこといたしました。1、継続性、2、交流促進、3、多様性の3つです。ロータリーは「未来の夢計画」以来、単年度から複数年度に制度が移行しています。そうなりますと当然、持続性継続性ということになります。また、個人ないしクラブ単位の奉仕から、他クラブないしグループでの活動という方向性にあり、そこから交流促進クロスプロモーションの考え方が生まれてきます。委員会の合同開催や協働セミナーが多く開かれるようになっていきます。またこの動きは当然多様性をもたらすこととなります。

以上のような動きを踏まえながらクラブの皆様をお願いすることは、1、学友関係に目を向け、若い会員、女性会員の勧誘。2、奉仕にあたって補助金活用を積極的に。3、ロータリーを少しアピールすること。4、My ROTARYなどによるロータリー情報の積極的な収集。5、1人1本の植樹、複数クラブや、他組織との協働で。6、会員減少による財政的な困窮解決方法として、事務所の共有化等など。

最後に国際協議会で得たロータリー財団管理委員長ポール・A・ネチェルが紹介されたリンドバークの物語から、寄付ばかりでなくその他の様々な多くの人々の協力が大きな事業を成功させるということをもって、スピーチを終わります。





職業奉仕委員長
理事 三戸岡 英樹

職業奉仕という概念は「ロータリーの目的」の第2項を土台としています。

- ・職業上の高い倫理基準
- ・役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

通常の話し言葉では使用しない「倫理基準」「高潔」などの文字が使用されているため、なかなか理解しづらいとの意見もよく聞かれます。昨年暮れに吉井会長から職業奉仕委員長を承ってから自分なりにロータリー職業奉仕について勉強してまいりました。その中でロータリー社会奉仕に関する1923年の声明の中に「ロータリーは、基本的に、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他者のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。」という言葉がありました。私にはこの言葉がロータリー職業奉仕の概念をよりわかりやすく表現していると思えます。これを言いかえれば「利己と利他の調和」ということになります。利己は別にして利他については得意とは言える人はそれほど多くないのではないのでしょうか。利他とは他者の利益の追求、つまり他者の立場になって考えられるかどうかということでもあります。

最近ストレス軽減法としてマインドフルネスという方法が注目を浴び実践されています。この方法は日常における自分の情動、心の動きを客観的に把握して自分の心の動きの癖を知ることからストレスを軽減する方法です。アメリカのカパット・ジンという方が広めたようですが、そのエッセンスは曹洞宗の道元禅師からと言われていました。私は以前この方法の指導者養成コースに参加した経験があります。人を指導するためにはまず自分の事が自分でわかっていなければなりません。このため参加者全員が日々の色々な出来事に対する心の動きを発表し、その時どのように感じ、なぜそのように感じたのか、そしてどのように対処したかあるいはどのように対処すべきであったかを洞察し、自分の心の動きの癖を知り、日々の情動の振幅に一喜一憂しないような生き方を学びます。私の場合最も心の動きが激しいのは嫁さんとのやり取りでした。このコースを学びながら最も長く身近にいる嫁さんの事を十分理解できていないことに気づき、自分の事を洞察している内に最も身近な他者である嫁さんの立場に立つて考えることができていないことに気づきました。人間の情動がコントロールできない状態、情動のパニックの状態は脳のある扁桃核からホルモンが分泌されて生じると言われています。90秒パニック状態をやり過ごせばこのホルモンは血液中から無くなります。情動のコントロールには90秒静かに心を落ち着かせることが重要なわけです。あの「ハゲ」の豊田真由子議員がこのことを知っていればあのような事には・・・・。このコースを終了してから嫁さんとの関係には「健全な不一致」でやっていこうと思うようになり、以前よりは嫁さんとの関係がぎくしゃくしなくなりました。つまり利己利他の調和を目指すためにはまず自分のことそして一番身近な嫁さんの事をよく知る事ではないかと思うのであります。違う言い方をすれば**自分の仕事をしっかりしながら人間的成長を目指せ**という事がロータリーの職業奉仕の概念だと思います。日々ロータリーの職業奉仕が実践できるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。



社会奉仕委員長
理事 鈴木 祐一

本年度社会奉仕委員長を仰せつかりました鈴木祐一でございます。この一年間会員の皆様方には行事の参加をお願いすることも多々あろうかと思いません。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、委員会メンバーには、副委員長に香山道宣会員、委員に川崎元男会員、池西正広会員、松下衛会員、林伯正会員と強力な体制で臨んでおります。

活動内容ですが、継続事業として神戸市立青陽東養護学校生と友生支援学校生の招待ボウリングは例年とお実施いたします。また、神戸東プロバスクラブ、前年度から引き続きNPO法人クルーズの支援も予定しています。

続いて。本年度地区補助金承認を予定しています社会奉仕委員会プロジェクトをご説明いたします。プロジェクト名は「地域の福祉作業所をつなぐ障がい者福祉作業所の施設改善」でございます。

具体的には、灘区水道筋商店街にあります福祉作業所ボレロ（以下ボレロと言う）を、洒落た美味しい下町のお菓子屋さんとして改装プロデュースする事業です。改装作業時にはロータリアン、障がい者、その家族が共同して漆喰の壁を塗ったり、家具の組立てなど楽しい楽しいメニューも取り入れています。但し、今回のプロジェクトで綺麗にカッコよ

く改装することが一番重要なことではありません。

ボレロは、就労継続支援B型の施設で福原敏晃会員が売れるお菓子作りを丁寧にかつ継続的に指導している施設です。現在のところ目標のレベルには至っていないそうですが厳しい指導の結果徐々に向上しているとのこと。加えて近直必ず達成できるとの強い言葉を福原会員から頂いています。

このボレロが水道筋商店街という舞台で地域社会とつながるお菓子屋さんとして繁盛してもらいたいと思います。一方、自分たちが生産・製作した品物をうまく販売できない多くの小規模福祉作業所（以下作業所という）が存在します。このような作業所では役所などがアレンジしたイベント等で細々と苦勞して販売を行っています。これら作業所の生産・製作物を地域社会とつながりをもったボレロで共同販売してもらったり、お菓子のパッケージ作業を地域の他の作業所に分担してもらったりすることで利益を分け合い、助け合いながら障がい者自身の自立の方法を見つけてもらい、自身の待遇改善を獲得することを最終の事業目的にしています。（店舗目標売上日版 10,000円以上 現状 2,000円程度 障がい者一人当たりの目標月額収入 30,000円 現状 14,000円程度）

さらに、将来うまく運ばば障がい者イベントでのお菓子販売、ロータリアン自身による販売機会のプロデュース等小さな成功が連鎖しながら地域社会で広がれば良いとも思っています。

この結果、本事業が地域社会・障がい者・その家族の共生社会実現の一助となる可能性があると思います。私のロータリアンとしてのキャリアは短いですが私達チーム「社会奉仕委員会」が全員結束して頑張ります。

どうか会員の皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。短いですがこれで私の就任の挨拶を終わらせて頂きます。御清聴ありがとうございました。



国際奉仕委員長
理事 田中 義明

今年度、2017-2018 年度国際奉仕委員長を拝命致しました、田中義明でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

国際奉仕とは、RI の理念によりますと、国際理解、国際親善、国際平和のために活動を行うということですが、非常に抽象的、かつ広大なテーマであります。

今年度の活動方針としては、

1. シスタークラブとの交流の維持、発展に努める
2. VTT（職業研修チーム）への協力、支援を推進する。
3. 国際奉仕に関する問題に対応する。
4. ロータリー国際大会への参加を促す。

と致しました。国際奉仕委員長という、役目は私が入会以来初めての体験でございますが、私の記憶にありますところ、約 10 年前に、植村先輩会員が国際奉仕委員長の年度に委員として配属されたことがございました。その際に、現在の VTT（職業研修チーム）、その時点は GSE と呼ばれたドイツ人のロータリアンが、同じドイツ人の将来囑望される若者、6,7 名をグループとして、2680 地区を訪れました。

当然わが、神戸東クラブも受け入れに参画して、

まず、兵庫県公館で副知事に表敬訪問の後、日本文化をぜひ紹介したいということから、川島宗治会員にお願いして、お茶会を開催、その際に多くの神戸東クラブ会員の奥様にもお手伝いを頂きました。

引き続き、座禅をも体験していただこうと、高橋会員のお寺のお堂をお借りして、尾山会員にお願いをして、ドイツ人のグループ全員が座禅を組み、1 人 1 人に背中をけいさくで打つという体験をしていただきました。夜の部の歓迎はやはり、日本式宴会が最適であろうと、高橋会員の自宅の大広間をお借りして、国際奉仕委員会のメンバー以外の会員も多く協力参加を頂き、座敷でお酒を酌み交わすという、大いに国際親睦を図れたいい機会になりました。

なぜここで、この話を私がお披露するかといひますと、その際にドイツ人若者グループの中に、2 名のドイツの自動車メーカー、アウディにエンジニア、デザイナーとして勤務する若者が参加していて、その 2 名が熱く、いずれ世界中にアウディを知名度、名実ともに広く広めるおおきな夢を語っていたのを思い出しました。今でこそ大いに有名なメーカーであり日本でも多く普及されていますが、その当時はそれほどの知名度、普及物足らないで彼らも満足できる状態ではなかったようです。しかし現在の日本で道路でアウディの自家用車を見かけない日はありません。現在でも私はアウディを見かけると、彼らが地球の反対の場所で、夢の実現ため努力している姿に想像し、感心、感動を覚え応援している自分があります。ロータリーが与えてくれたこの 1 つの GSE の機会において神戸東 RC の会員が全力で彼らを歓迎し、彼らも地球の反対の自国に戻り、夢の実現に努力をしている。それをわれわれも感心、感動、お互いに応援していく。これこそが国際奉仕の原点である、国際理解、国際親善、国際平和であろうと考えます。

私はこの貴重な経験を生かし、今年度の委員会活動に取り組みたいと考えます。

よろしくお願ひ申し上げます。



青少年奉仕委員長
理事 四方 克明

今年度の青少年奉仕委員長を仰せつかりました四方克明です。1年間よろしくお願ひいたします。

皆様ご存じのとおり、青少年奉仕活動には、インターアクトクラブ (IAC) :中学生、高校生、または12歳～18歳の若者で構成され指導力、思いやり、家族を大切にする心、他人の尊重、地域社会に対する責任、社会への奉仕、国際社会への理解などについて学び、実践する場。第2680地区には26クラブ、約700名の会員がいます。ローターアクトクラブ (RAC) :18歳～30歳の青年男女で構成され、2週間に1度例会を開き、個々の能力を開発し高めるプログラムや、会員相互の親睦を深めるプログラム、社会への奉仕活動を行う。第2680地区には、8クラブがあり、約50名の会員がいます。RYLA(ライラ)セミナー:ロータリー青少年指導者養成プログラム。1960年5月にオーストラリア・クイーンズランド州で発祥し、1971年に国際ロータリーにより正式採用されたプログラム。1979年に第2670地区(四国全県)と第2680地区(兵庫県)が合同で第1回セミナーを開催。以来39年間、毎年小豆島にある神戸YMCA余島野外活動センターにて、3泊4日の共同生活の下、講義、レクリエーション、バズ

セッション、フォーラム等を通して、リーダーシップのあり方や社会の諸問題について考える場を提供している。青少年交換:15歳～19歳までの青少年に母国以外の国を訪問したり、そこに留学したりする機会を提供する国際ロータリーの構成プログラムです。すべての学生は地元で申請を行い、地元地域社会のRCの支援を受けなければなりません。様々なロータリーのプログラムに参加した参加者の為に学友会を設立し、ロータリー学友とロータリアンの間に生涯に渡って固い絆を継続的に築いていくために学友会が組織されています。

一方、近年は、青少年奉仕活動における危機管理について盛んな議論がなされています。

青少年奉仕委員会は以上のような活動を実施するなかで、「人を育て」、「心を育てる」奉仕であり、次世代を担うリーダー、また将来ロータリアンとなる青少年を育成することが役割であると思います。今年度、青少年奉仕委員会では、

1. 基本方針として、次世代のリーダーとなる青少年の、健全な心身の育成に貢献することを目的として、委員会メンバー全員が、ロータリークラブの精神を発揮して委員会活動を行います。
RI会長テーマ「ロータリー:変化をもたらす」、会長テーマ「明るく・楽しく・みんな奉仕!」に基づきながら、青少年が感動し共感するような事業を行ってまいります。
2. 具体的な活動として、①インターアクトクラブ結成への調査・研究・提言を行う。②王子動物園の継続事業である「永田萌さんとの写生会」を後援、実施する。日時:2017年11月26日(日曜日)を予定③RYLAセミナーへの参加者を送る。の3点を行います。



早馬 政宏

—三菱東京UFJ銀行—

本年4月に入会させて頂きました早馬でございます。簡単ではございますが自己紹介をさせていただきます。

私は神戸市北区（鈴蘭台）生まれの51歳で、大阪の公立小中高を履まして、神戸大学（経営学部）に入学し、ゼミでは保険論を専攻しておりました。就職先として、関西系の銀行と生命保険会社などで迷いましたが、お会いした先輩社員の方々から感じました自由でアグレッシブな社風から、わが社にお世話になることにしました。平成2年の入社ですので、当時はまさにバブルの真っ只中であり、同窓同期は20数人もおりました。景気でいいますと、前年末には日経平均が最高値を記録したり、国債が確か6%～8%程度もあった好景気の時代だったと記憶しております。

弊社の場合、新入社員は一斉に全国の支店へ配属される訳ですが、幸運にも私は、地元である三宮支店の辞令を受け、同窓同期の皆から大変羨ましがられました。それから20数年が経ち、本年1月の人事異動で、久しぶりに三宮支店に戻ってまいりました。弊社には世界中に数百を超える勤務地がある中で、2度も大好きな神戸勤務が出来ましたことはまさに夢のようです。必ずや神戸の人と、街に大きく

貢献したいと考えております。余談ではございますが、私の祖母は神戸市役所の公務員で王子動物園に勤めておりました。子供の頃にはチンパンジーを観によく遊びに行ったものです。

2度の三宮支店勤務の間には、東京と関西を、また本部と支店を何度か行き来しておりました。東京の支店でいいますと、港区や中央区など銀座線沿線で主に勤務し、直前は京王線沿線の世田谷区の支店で支店長をしておりました。また本部では、営業企画、ファイナンス部署、及び自治体様向けの仕事などをしておりました。

プライベートな話をさせていただきますと、休日の過ごし方は、大好きですが一向に上達しないゴルフ（よく言えば100前後、正直に言えば110超）に加え、最近（半年ほど前から）ジョギングを始めました。20分間の早歩きからはじめまして、今では週末に10キロほどゆっくり走っております。お気に入りの練習コースは、夙川に沿った苦楽園から香露園浜でありまして、桜や紫陽花など季節感に溢れ、また砂浜やヨットハーバーなどではサンタモニカの風すら感じられる贅沢なコースであります。また（犬の）飼い主さん同士のにぎやかな道端会議や、運動不足のお父さんとニコニコ楽しそうなお子さんとのキャッチボールを見ておきますと、心が和む気分になれます。その後、部屋に戻りシャワーを浴び、激走した達成感に満たされながら、大好きなチーズ、フランスパンやお漬物でビールを飲む瞬間が最高に幸せでございます。尚、6月には生まれて初めて（堺市で開催されました）10キロマラソンを1時間強で完走し、10月には（滋賀県長浜市の）ハーフマラソンにチャレンジ予定でございます。そして今年最大の目標であります11月の神戸マラソンに臨みたいと考えております。初のフルマラソンへの参戦であり、正直タイム云々ではなく、完走、いや楽しく走れば、最高です。結果はまたご報告させていただきます。

これからもどうぞ宜しくお願いします。



神戸開港 150 年記念の 「みなとこうべ海上花火大会観賞会」を盛大に開催



2017年8月5日土曜日みなとこうべ海上花火大会観賞会を神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催しました。

懇親会ではロータリーメンバーとご家族が交流を深めロータリアンとしての絆をより強いものへとすることができたのではと思います。

サプライズイベントとして角田会員が誕生日当日にあたりましたのでケーキでお祝いさせていただきました。

雨が心配されましたが幸いにも天気にも恵まれ神戸開港 150 年を記念しての花火大会が開始！花火打ち上げ数が例年では1万発のところ、大幅に上回る1万5千発の花火が打ち上げられメリケンパークオリエンタルのテラスで目の前には何も障害物がない状態で大スペクタクルショーを堪能し閉会致しました。

131名の参加されました皆様本当にありがとうございました。

(家族委員長 吉田 茂)





余韻会 (俳句同好会)

平成二十九年六月九日 於 西村屋 花みかげ

駅舎より旅のはじまる燕の子
本郷 桂子

雨あがり摩耶に新緑ゆきわたる
執行 執艸

風薫る淡路の海に光さす
白羽 子誠

ねむの木の葉裏をなぞる風五月
角田 伯堂

青蛙ゴツホも黙る色使ひ
則岡 弘士

転職の知らせとともにさくらんぼ
壺井 仙岳

黒南風の瀬戸内海の波高し
松原 氣宏

心地良き木々の若葉や風さわぐ
池西 清栄

いづこより口笛渡る初夏の風
橘 恵子

さくらんぼガラスの皿に妍競ひ
村野 離翔

余韻会 (俳句同好会)

平成二十九年七月二十七日 於 西村屋 花みかげ

ところてん折れてつながらざる心
本郷 桂子

ところてん滝の形に押し出され
執行 執艸

ところてん箸の彼方に淡路島
白羽 子誠

ところ太押し出されたる色にぶし
角田 伯堂

客帰り呑む一杯のビールかな
則岡 弘士

空蟬を背負ひ空蟬留まりたる
壺井 仙岳

庭先の行水の兎らにぎやかに
松谷 泰山

心太突いて言ひ出す小言かな
吉井 聖倅

半世紀役目終へたる登山小屋
松原 氣宏

満席や茶屋のお目当てところ太
池西 清栄

五月雨といふには惨き流れかな
橘 恵子

ヒマラヤの村の娘長き髪洗ふ
村野 離翔



絵と文 則岡 弘士

「山の辺の道」

もう10年以上も経ってしまったが、神戸東ロータリークラブの同好会「歩こう会」の仲間達10数人と「山の辺の道」を歩きすっかり気に入ってしまった。この絵は家内を誘って二度目に行った時のものである。5月だったので鯉のぼりが上がっている。のどかでびったりのハイキング日和だった。山の辺の道へはその後も何度か訪れている。

CONTENTS

3 役就任挨拶	1
ガバナー公式訪問	5
4 大奉仕委員長就任挨拶	6
新入会員自己紹介	10
みなとこうべ海上花火大会観賞会	11
余韻会	13

編集後記

今年度第1号の会報をお届けします。

新米委員長ですので、皆様にご迷惑をお掛けしながら、ようやく発行までこぎつけました。

会長テーマの「明るく・楽しく・みんなで奉仕！」を実践すべく、会長の似顔絵も登場させて頂きました。

少しでも楽しんで頂けたら幸いです。

広報委員長 白田 勉